



## 「だったひびきの聲で生き残るじよあね」

奈良100年会館満員御礼の小椋佳さんのコンサートのご報告です。まずは代表作の「俺たちの旅」。中村雅俊主演の「俺たちの旅」は、その時代の生き方ばかりが生き方じゃないと反骨を示し共感を受け、そんな青春時代を思い出すことは大切なこと、と感じながら歌っておられるとのこと。

70歳の時、生前葬コンサートをNHKホールで盛大に行い、思い残すことはないと思止符。ところが、その後も毎年コンサートを開き、1月には82歳、筋力体力もどんどん弱り、歯も先々月1本、先月1本抜け、来週歯科医院の予約をしているらしく「歯なしのまま、はなしをします」と大笑い。

何をしてもしんどくて、朝目覚めると「あー今日も生きなきゃ」と、コンサートも命がけ「途中倒れたらごめんさい」と。

26年半銀行のサラリーマンを経験、ニューヨーク州への出張では外国のインバستمントバンカーを学び論文を仕上げることに東京のテレビドラマの主題歌を仕上げるのが任務。アメリカらしい生活に憧れ一軒家を借り、家主からは熱帯魚の水槽だけをただ見守ってくれさえすれば良いと言われた。しかし異常事態がおき、水槽にタニシが数千匹発生、お箸で一匹ずつつまみ出し水をかえ大忙しとなった。論文と主題歌とタニシと・・・その時できた主題歌は「めまい」と大笑い。

中学、高校と青春時代は人生の意味とは？真実とは？神とは？どうして生きていくか？それを言葉で考え、言葉を使って真相を確かめようとしたが答えは出せないままつらく過ぎていった。若い頃の歌の終わりは疑問符だったが、今はピリオドになった、しかし、いまだに人生をどうすれば良いか迷うこともあるぞう。

大好きなお孫さんは10歳の野球少年、「どこ守ってるの？」と問うと明るく元気に「ベンチ！」と。「いい奴だなあ」と嬉しそう。今の時代は個人個人のそれぞれの考えを大事にし、流されず生きようとしている、これは良かったと感じている、と。

全15曲。82歳の小椋佳さんの自然な生きざまに心打たれ、純粋に素直に生き抜くことを学んだ。最後は、期待と祈りと感謝を込めて「さようなら」、「このひびきで締めくくられた」。

目の前の小椋佳さんに心から感謝し、感動の涙と笑いで大満足でした。

## ♪歌は世につれ世は歌につれ♪

日曜日の午後、いつもの食堂にカラオケ喫茶がオープンしました！みなさまの手拍子によって「青い山脈」「星影のワルツ」など、昭和のメロディーが次々と披露されます。

「私の十八番！」「流行ってんで！ええ歌や～」と懐かしく思いを馳せ、楽しくくつろいだひと時を過ごされました。



### ◎外出について

予定が決まりましたら、相談員までご連絡下さい。

(お風呂や準備などの都合上、原則5日前まで)

外出可能時間帯：10:00～16:00

### ◎面会について

午前 10:00～11:00の30分毎 30分間

午後 14:00～16:30の30分毎 30分間

・マスク着用にて消毒と検温の上、玄関ホールでの面会となります。電話予約にて承ります。

※感染症の状況などで、中止となる場合があります。ご理解ご協力をお願いいたします。

### 6月 行事予定

6/8(月) 喫茶

6/14(日) 家族の会園内清掃 総会

6/22(月) 喫茶

6/28(日) 誕生日会

